

大牟田市立勝立中学校

1 本校のE S Dの特徴

本校は、教育活動全体の中にE S Dの視点を位置づけ、E S Dがめざす6つの構成概念と7つの重視する能力・態度の育成を中心に据え、本校の学校目標である「心豊かで健やかな身体を持ち、自ら学び、自ら考え、真剣に生きる生徒の育成」をめざしている。特色は「地域とのつながりを意識し、自ら学び、表現できる生徒の育成」である。そのために、教育資源を教材化し、教材開発のプランニング・各教科との関連とのバランスをとりながら、以下に示す総合的な学習の時間を中心に、研究・実践を行っている。

特に本校のE S Dの特徴として、

- 地域との絆づくりのために、地域のひと・もの・ことを活用する。
- 「総合的な学習の時間」と学校行事、各教科、領域との関連を図る。
- 各学年の総合の時間に技術科において情報教育を行う。
- 課題との出会い→課題設定→課題探究の学習過程を経て、を視点において取り組んできた。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

本校のユネスコスクールとしての活動は、E S Dの目標として、「学校の教育活動全体を通して、人格の発達や、自立心、判断力、責任感などの人間性を育むと共に、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重できる生徒を育成する」ことである。

この目標を達成するために、教育活動全体を通して行う。地域学習として、
第1学年では地域学習（歴史、文化、自然）、
第2学年では、修学旅行を通しての伝統文化、
第3学年では、将来、親になるための「福祉・保育学習」を行う。

また、進路学習においては、第1学年で「社会見学」として地域の企業を訪問した。

3 特徴的な活動事例

(1) 第1学年

地域学習の一貫として防災学習を行った。そのために、まず課題と出会う場として、【写真1】は、福岡市防災センターにて行った体験活動の様子である。

その後、学校において「防災新聞」を展示した。また、今後行われる防災運動会にも多数の生徒が参加することになっている。



【写真1】福岡市防災センターにて

(2) 第2学年

地域学習では「世界遺産学習」、キャリア教育では「職場体験学習」を行った。職場体験学習では、大牟田の現状や就職する際に必要なことと題して、ハローワークから講師を招いた。職場体験で学んだことを「職場体験新聞」にまとめ発表した。職業に関する外部講師や修学旅行では「舞妓体験」をおこない仕事について学ぶ場を設定した。【写真2】



【写真2】 職場体験

(3) 第3学年

地域の学習とキャリア教育をかねて、保育実習を行った。将来地域を担う大人としての子育ての体験や職業としての保育士の仕事内容を学ぶことができた。生徒は自分が通った保育園に行ったり、子ども達とふれあうことによって、地域の一員としての自覚を高めることができた。【写真3】



【写真3】 保育実習

(4) ソフトバンクホークス打撃コーチによる講話

本校では、今年度閉校を迎え、来年度より「宮原中学校」になる。そこで、本校の卒業生で、現在、ソフトバンクホークス打撃コーチである立花義家さんに来ていただき、勝立中学校での思い出や、プロ野球選手になるために努力されたこと。また、多くの選手を育ててこられた経験から、「伸びる選手」「活躍する選手の行動や姿勢」について話していただいた。【写真4】



【写真4】 打撃コーチ立花さんの講話

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域のことを自分の身近なこととしてとらえることができた。
- ・発表の場面を設定することで、保護者や地域へ発信することができた。

○課題

- ・学年間の交流や他の学校や機関との交流を図る機会を持つ。
- ・E S Dを校務分掌の一番上に設定し、教師全体で取り組むことができるようにする。